

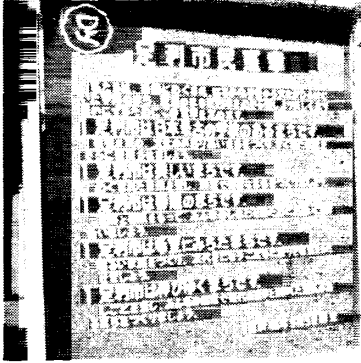
(4) 研究経過

昭和54年度

回	日時	内容
1	4月27日 10:00~12:00 (603会議室)	1 目標起草委員会委員長並びに副委員長の選出 2 目標起草委員会の設置について (1) 目的 (2) 組織 (3) 任期 (4) 運営 等 3 目標起草委員会の年間計画の検討 4 教育目標最終まとめの構想についての検討 5 四専門部会で設定した教育目標を人生各期の教育目標に整理・統合する角度の検討 ○ 整理・統合する角度の案 (1) 個人的資質, 社会的資質, 国際社会に対応できる資質の角度から整理・統合してみる。 (2) これからの社会において, 強調される五つの人間像(河野重男著「現代の学校」第一法規)の角度から整理・統合してみる。 I 自己教育のできる人間 II 情報の主人公になれる人間 III 新しい人間関係の中で生きる人間 IV 多元的価値観の社会に生きる人間 V 国際社会に生きる人間 ○ 四専門部会で設定した教育目標を, 強調される五つの人間像の角度から整理・統合してみることになる。
2	5月11日 10:00~12:00 (603会議室)	1 五つの人間像の観点で整理・統合した教育目標案の検討 ○ 問題点 (1) 五つの角度からでは, 整理・統合が無理な教育目標について (2) 整理・統合にかかわる目標表現やレベルの違いについて (3) 人生各期への位置づけに対する必然性について (4) 教育される立場にある乳幼児期の目標表現について 等 2 問題点について指導者からの指導を受けることになる。
	5月25日 15:40~17:00 (研修室) 新井郁男先生 指導	1 整理・統合する上での問題点についての指導 (1) 五つの人間像の角度は, 整理・統合作業の第1段階でのものであり, あくまで四専門部会が設定した教育目標内容を洗い出し, その角度から整理・統合を図るべきである。 (2) 目標表現やレベルの違いについては, 人間の発達から考えて一般的に乳幼児期や児童期は具体的な表現で, 発達期が進むにつれて抽象的な表現になるのは当然なことである。

回	日 時	内 容
		<p>(3) 人生各期への位置づけは、教育の適時性の角度から十分に検討する必要がある。</p> <p>(4) 乳幼児期の目標表現については、「意志の主体者」として表われ、壮年期では、「子育ての立場」から表現する方法がある。等</p>
3	<p>6月4日 10:00～12:00 (603会議室)</p>	<p>1 足利市教育目標中間発表会における資料について</p> <p>(1) 人生各期にわたる教育目標（試案）の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標内容のくくりから整理・統合され、人生各期に位置づけられた目標試案についての検討 <p>(2) 人生各期の教育目標に対する達成目標及び教育課題の検討</p> <p>(3) 人生各期にわたる教育目標（試案）に対する市民のアンケート内容の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人生各期において、特に取り上げるべき教育目標について ○ 目標試案以外に必要なと思われる目標内容について 等 <p>(4) 教育目標設定経過についての資料検討</p> <p>(5) 教育目標中間発表会開催要項の検討</p> <p>2 中間発表の方法について</p> <p>(1) 3か年にわたる目標設定の実際をスライドに収めて映写する。</p> <p>(2) 目標試案について事務局が説明する。</p> <p>(3) 質疑、意見発表の際の議長は、各専門部会長が務める。等</p>
4	<p>8月24日 10:00～12:00 (603会議室)</p>	<p>1 中間発表会の実施結果について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 5会場で実施した中間発表会での意見聴取事項や、アンケート結果を整理した「足利市教育目標中間発表会実施結果報告書」の内容に基づき、今後の目標設定への反映のさせ方の検討 <p>2 教育目標起草全体構想（最終まとめ）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3か年の目標設定作業の主な内容の確認とこれからの目標設定作業を明らかにし、資料をもとに検討した。 <p>3 「人生各期にわたる教育目標」の解説の作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育目標の解説文作成について、解説例を基に検討した。 <p>＜解説文作成の観点＞</p> <p>① 全体的な解説</p> <p>② 市民の意識や実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1次調査及び2次調査の結果 ○ 中間発表会での意見聴取事項やアンケート結果 <p>③ 昭和29年設定の教育目標との関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 昭和29年設定の「足利市教育の一般目標」との対比やつ

IV 足利市の教育目標設定の実際

回	日時	内 容
		<p>ながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 市民憲章との関連 ⑤ 未来社会への対応 <ul style="list-style-type: none"> ○ これからの社会において要請される目標内容の必要性 ⑥ 目標設定の理由 <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標設定の必然性と教育の適時性等  <p style="writing-mode: vertical-rl; position: absolute; right: 0; top: 0;">市民憲章 昭和四十五年五月五日制定</p>
5	<p>9月20日 10:00~12:00 (334会議室)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 「人生各期にわたる足利市の教育目標」(試案)の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標検討の視点と方法について、資料を基に検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 統合・分離 <ul style="list-style-type: none"> ○ 集約・統合を図る目標例の検討 ○ 分離を図る目標例の検討 ② 目標表現レベルの調整 <ul style="list-style-type: none"> ○ 具体化する目標例の検討 ○ 抽象化する目標例の検討 ③ 人生各期への位置づけ <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育の適時性からの検討 ④ 目標表記上の検討 <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標文末の統一 ○ 容易な語句の使用 等 2 人生各期にわたる教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標番号18「友達と互いに協力し合うことができる。」(児童期)を例として、今後、解説文を作成していく際に、問題点となるところを検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ専門用語を使用しないで、平易な表現をする。 ・ この目標が児童期に位置づけられた理由(教育の適時性)についてふれる。 ・ 児童期のこの目標は、青年期におけるこの目標につながるといった目標の系列についてふれる。 ・ 解説文作成の観点の一つである「市民憲章との関連」の欄の表記のしかたは、次回で検討する。等 3 目標起草委員会の今後のスケジュールについて、資料を基に検討した。
		<ul style="list-style-type: none"> 1 目標起草委員会委員長並びに副委員長の交代について

回	日 時	内 容
6	10月11日 10:00～12:00 (603会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目標起草委員長が教育委員に任命されたため、新目標起草委員長並びに副委員長の選出を行った。 2 人生各期にわたる教育目標(試案)の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 中間発表会での意見聴取事項を各教育目標に反映し検討した。 3 人生各期にわたる教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 5目標の解説内容について検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 例えば、青年期の教育目標内容を検討する際に、この目標とかかわる児童期の目標や壮年期の目標の解説内容との関連を図る必要がある。 ・ 解説文の書き出しや文末の表記については、ある程度統一するべきである。等
7	11月15日 10:00～12:00 (603会議室)	<ul style="list-style-type: none"> 1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 10目標の解説内容について検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 達成目標の角度から検討を要する教育目標については、各専門部会での作業が完了次第、漸次目標起草委員会で検討することになる。 ・ 目標番号1「郷土の自然や文化に親しみ、その保護・発展に努める。」の解説内容の中に、足利市が伝統的文化都市環境保存地区に指定されたことや、足利市の特色あるまちづくり推進研究会議の方向等もふまえることが必要である。等 2 人生各期にわたる教育目標(試案)の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在までの段階で、達成目標の角度から検討を要する教育目標として、次の二つの目標が検討された。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合された目標 目標番号26、「友達のだれとでも、積極的に仲よく遊べる態度を身につける。」(乳幼児期) ・ 新設された目標 目標番号37「性について正しい理解をもち、家庭において指導することができる。」(壮年期) 3 重点教育目標設定の考え方について(第1回) <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点教育目標設定の考え方についての提案がなされ、その検討は次回に行うことになった。
		<ul style="list-style-type: none"> 1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 7目標の解説内容について検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標によっては、解説内容に重複する部分がある。全部の教

IV 足利市の教育目標設定の実態

回	日時	内容
8	12月6日 10:00～12:00 (603会議室)	<p>育目標解説が終了した時点で、総括的に検討することが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民憲章との関連については、① 直接的に関連する。② 間接的に関連する。③ まったく関連しない。といった段階を設けて検討する必要がある。等 <p>2 「人生各期にわたる教育目標」(試案)の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在までの段階で、達成目標の角度から検討を要する教育目標として、次の目標が検討された。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 統合された目標 <ul style="list-style-type: none"> 目標番号67「日本及び世界の国々に対する関心と理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。」(児童期～青年期) ・ 分離された目標 <ul style="list-style-type: none"> 目標番号43「職業人としての自己研修にたえず努める。」(青年後期～壮年期) 目標番号45「職業を通して生きがいがある。」(青年後期～壮年期) 目標番号44「職業人としての専門的スキルや資格を身につける。」(青年後期～壮年期) 目標番号47「正しい職業観に立ち、自分にあった職業を選択するための能力を身につける。」(青年期) 目標番号39「家庭で行う行事に積極的に参加する。」(児童期～青年期) 目標番号62「自由時間を有効に過ごす。」(児童期～青年期) 目標番号40「よい家風を受け継ぎ、さらに新しい家風をつくりあげていくことができる。」(壮年期) 目標番号63「進んで計画的に自由時間を活用する。」(壮年期～高齢期) <p>3 重点教育目標設定の考え方についての検討</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 設定の必要性 (2) 設定の角度 (3) 設定の手順 等
		<p>1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 3目標の解説内容について検討した。 <p>2 重点教育目標設定の進め方について</p>

回	日 時	内 容
9	55年1月31日 10:00～12:30 (603会議室)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導 新井郁男先生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 足利市の教育目標設定の特徴は、市民参加による目標設定にある。その精神を生かし、各主体者の手によって重点教育目標は設定されていかなければならない。 ・ 目標設定委員会としては、各主体者が重点教育目標を設定していく際に、内容的にも方法的にも参考となる目標を設定する必要がある。 ・ 重点教育目標は、ある一定の期限を設け、その期間において達成されることを意図して設定されるべきである。各主体者が重点教育目標を設定し、実践していく中で、当然評価がなされる。その評価結果を十分ふまえて、次回の重点教育目標が設定されることになる。 ・ 人生各期にわたる教育目標がある程度煮詰まった段階で、実験的にいくつかの個人、家庭、学校、職場等に重点教育目標の設定を依頼してみることも考えられる。等
10	2月19日 10:00～12:00 (201会議室)	<ol style="list-style-type: none"> 1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 5目標の解説内容について検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 正しいことば遣い、正しい職業観の「正しい」という言葉の意味内容を共通理解しておくことが大切である。 ・ 自由時間は、すなわち、レクリエーションではない。自己を高めたり、研修したりすることも含めて考えるべきである。また、自由時間を家族揃って過ごすことが少ないため家族ぐるみの自由時間の活用を重視しなければならない。等 2 重点教育目標設定の構想と手順について <ol style="list-style-type: none"> (1) 設定の方針の検討 (2) 設定の方法の検討 <ol style="list-style-type: none"> ① 手順について <ul style="list-style-type: none"> ○ 設定のための手順 ○ 設定のためのスケジュール ② 調査について <ul style="list-style-type: none"> ○ 市の業務内容の洗い出し調査 ○ 足利市教育の将来の展望に立った調査 等
		<ol style="list-style-type: none"> 1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 4目標の解説内容について検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 解説文の中では、「公民」と「市民」の概念を明確にして使

IV 足利市の教育目標設定の実際

回	日 時	内 容
11	3月4日 10:00~12:00 (603会議室)	<p>うべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭における性教育の指導が望まれることと、その指導の手だてを講じることが大切である。等 <p>2 教育目標の集約内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生各期にわたる教育目標内容の柱を明らかにするために、教育目標のくり方と、その集約内容について資料を基に検討した。

昭和55年度

1	4月18日 10:00~12:00 (603会議室)	1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について								
		<ul style="list-style-type: none"> 7目標の解説内容について検討した。 現段階では、達成目標レベルで同和教育の目標が位置づいているが、国民的課題、市民的課題といわれる部落差別の解消の問題を、もっと強調して打ち出す必要がある。 足利市では、56年度から60年度までの後期振興計画の柱の一つとして打ち出しており、現在、同和教育について社会教育や学校教育等で積極的に取り組んでいる。家庭教育も含めた中で、この問題を強調していく必要がある。 各専門部会において検討し、その結果をふまえて目標起草委員会で検討することになる。等 								
		2 面接調査「意見を聴く会」の実施についての検討								
		(1) ねらい								
		足利市民の長所や短所及び、将来のあるべき姿からの教育の方向等について、教育の専門家の意見を聴取し、重点教育目標設定のための資料とする。								
(2) 方法	デルファイ調査の考え方を取り入れて実施する。									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>日 程</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[第1段階] 4月21日 4月24日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 面接対象者に対し、ねらい、内容、方法等の趣旨説明 アンケートの回答依頼 </td> </tr> <tr> <td>[第2段階] 4月28日 5月1日</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収と事務局での整理 面接対象者へアンケートの整理結果を配布 </td> </tr> <tr> <td>[第3段階] 5月6日 14:00~16:00</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> アンケート整理結果をもとに、教育の専門家として強調すべき教育目標及び、その根拠について意見聴取する。 </td> </tr> </tbody> </table>	日 程	内 容	[第1段階] 4月21日 4月24日	<ul style="list-style-type: none"> 面接対象者に対し、ねらい、内容、方法等の趣旨説明 アンケートの回答依頼 	[第2段階] 4月28日 5月1日	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収と事務局での整理 面接対象者へアンケートの整理結果を配布 	[第3段階] 5月6日 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> アンケート整理結果をもとに、教育の専門家として強調すべき教育目標及び、その根拠について意見聴取する。
日 程	内 容									
[第1段階] 4月21日 4月24日	<ul style="list-style-type: none"> 面接対象者に対し、ねらい、内容、方法等の趣旨説明 アンケートの回答依頼 									
[第2段階] 4月28日 5月1日	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの回収と事務局での整理 面接対象者へアンケートの整理結果を配布 									
[第3段階] 5月6日 14:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> アンケート整理結果をもとに、教育の専門家として強調すべき教育目標及び、その根拠について意見聴取する。 									
		聴取内容のまとめとして「足利市教育目標設定に関する意見を聴く会記録」を刊行する。								

回	日時	内容
		(3) 面接対象者の選定 <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標起草委員の推薦による。 (4) 面接調査「意見を聴く会」の日程 等 <p>3 重点教育目標設定について</p> (1) 重点教育目標全体構想図の最終検討 (2) 重点教育目標設定作業手順の検討 (3) 重点教育目標の提示内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> ○ 提示する形式について ○ 重点教育目標の解説作成について ○ 重点教育目標の具体策、教育機能連関策定について
	5月6日 14:00～16:30 (602会議室)	面接調査「意見を聴く会」の実施
2	5月13日 10:00～12:00 (603会議室)	1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 7目標の解説内容について検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 乳幼児期において、動植物に直接接することは大切なことである。 ・ いまの子供たちは、自分で材料を選び、工夫して遊び道具をつくることに欠けているようである。 ・ 子供に敬老の精神を育てることは強調すべきである。 ・ 「個人または団体の利害だけにとらわれず、全体との調和を図っていくことができる。」の目標は、極めて重要な目標である。 等 <p>2 同和教育の角度からの教育目標見直し検討について</p> (1) 見直しの必要性について <ul style="list-style-type: none"> ○ 足利市の教育目標は、一般的・普遍的な性格を兼ね備える。 ○ 国民的な課題である同和問題を教育の面からとらえる。 (2) 同和对策審議会答申の角度からの見直し検討について <ul style="list-style-type: none"> ① 現段階において設定されている教育目標、達成目標、教育課題について、答申内容の角度からの分離・統合案の検討 ② 教育目標の検討結果 <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達のだれとでも、積極的に仲よく遊べる態度を身につける。(乳幼児期)

IV 足利市の教育目標設定の実際

回	日 時	内 容
		<ul style="list-style-type: none"> ○ よりよい仲間づくりをするために、不合理な差別や偏見をもたないで生活することができる。(児童期) ○ 同和問題を正しく理解し、不合理な差別や偏見のない民主的な人間関係をつくることに努める。(青年期) ○ 同和問題を正しく理解し、不合理な差別や偏見のない社会の実現に努める。(壮年期～高齢期) <p>3 足利市教育目標中間報告会実施状況についての報告</p> <p>(1) 目的</p> <p>(2) 開催団体名 41団体</p> <p>(3) 参加予定人数 約4,000名</p>
3	6月19日 10:00～12:00 (603会議室)	<p>1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 8目標の解説内容について検討した。 <p>2 重点教育目標設定のための基礎資料について</p> <p>(1) 重点教育目標を設定するに当たって、それぞれの教育目標に対する基礎資料作成の角度及び、内容について検討した。</p> <p>(2) 資料作成の角度</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 教育目標内容の柱とその構造を明らかにする。 ② 市民憲章との関連をおさえる。 ③ 足利市振興計画との関連をおさえる。 ④ 教育目標のタイプをあげる。 ⑤ 各専門部会で強調する教育目標及び、その理由についてあげる。 ⑥ 面接調査「意見を聴く会」での意見聴取結果を付記する。 ⑦ 中間報告会におけるアンケート結果を付記する。 ⑧ 各種の報告書や答申書の内容を付記する。 <p>(例) ○ 足利市の特色あるまちづくりについての報告書(55・3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 足利市における社会福祉実態調査研究報告書(55・5) ○ 足利市地域生活環境指標(55・3) ○ 伝統的文化都市環境保存地区整備事業(55・3) ○ 老人の生きがいを高めるための調査・研究に基づく答申書(55・1) ○ 商工会議所の新しい地域行動の方向(55・3)等

回	日時	内容
4	7月4日 10:00～12:00 (603会議室)	<p>1 人生各期にわたる教育目標解説の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 解説内容の問題点について審議した。 <p>2 重点教育目標の設定について</p> <p>(1) 教育目標内容の柱についての検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 郷土の自然や文化の愛護 ② 健康・安全の保持増進 ③ 社会連帯感の育成 ④ よき家庭人の育成 ⑤ よき職業人の育成 ⑥ 主体的な生活態度の育成 ⑦ 国際社会に生きる日本人としての自覚 <p>(2) 重点教育目標設定の視点の検討</p> <p>(3) 「教育目標内容の柱とその構造」及び「重点教育目標設定のための基礎資料」をもとに検討し、重点教育目標として10目標を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 郷土の自然や文化に親しみ、その保護・発展に努める。 (児童期～高齢期) ② スポーツを通して心身を鍛え、自らの健康管理ができる。 (青年期) ③ 個人または団体の利害だけにとらわれず、全体との調和を図っていくことができる。 (青年期～壮年期) ④ 道徳的な態度を身につけ、実践することができる。 (児童期～壮年期) ⑤ 同和問題を正しく理解し、不合理な差別や偏見のない社会の実現に努める。 (壮年期～高齢期) ⑥ 子供の人格の基本となる望ましい性格を育てる。(壮年期) ⑦ 職業人としての自己研修にたえず努める。(青年後期～壮年期) ⑧ 基礎的な知識や技能を習得し、自ら学びとる態度を身につける。 (児童期～青年期) ⑨ ものを大切にし、資源を有効に活用することができる。 (乳幼児期～高齢期)

IV 足利市の教育目標設定の実際

回	日時	内容
		<p>⑩ 日本及び世界の国々に対する関心と理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。(児童期～青年期)</p> <p>(4) 各主体者による重点教育目標設定の依頼について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本発表会における「各主体者による重点教育目標」設定の実践例発表にかかわる内容について検討した。 ○ 検討内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の趣旨 ・ 発表者数と発表時間 ・ 発表者の選定 等 ・ 発表者については、9月の総合調整委員会で最終決定する。
5	7月31日 10:00～12:00 (602会議室)	<p>1 人生各期にわたる教育目標(70目標)試案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育目標内容の柱や教育目標内容の集約内容との関連、最終的な目標表記等について検討した。 <p>2 重点教育目標(10目標)試案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点教育目標設定にかかわる現在までの研究経過や研究内容について、まとめをした。 <div data-bbox="579 818 1171 1180" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">55・7・31 目標起草委員会「足利市の教育目標」(案)の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 重点教育目標の解説文作成について検討した。 <p><解説文作成の観点></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 足利市の地域性 <ul style="list-style-type: none"> ・ 足利の歴史的な背景や文化的伝統 ・ 足利市民の長所や短所 等 ② 市民憲章との関連 ③ 足利市民の意識や実態 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次調査及び2次調査の結果 ・ 中間発表会、中間報告会、意見を聴く会での意見聴取内容やアンケート結果等 ④ 行政等の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 足利市行政の取り組み

回	日時	内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関・団体の提言や実践等 ⑤ 目標設定委員会として強調する理由 <ul style="list-style-type: none"> ・ 重点教育目標設定の必然性 ・ 教育の将来の方向 ・ 5年間の達成を見通した課題 ・ 主体者が目標設定する際の参考となる理由 ・ 目標設定委員会として強調する理由等
6	11月14日 10:00～12:00 (334会議室)	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育委員会への答申書(案)について 2 次年度以降の「足利市の教育目標」具現化構想について <ol style="list-style-type: none"> (1) 具現化構想図の検討 (2) 具現化を図るための年次計画の検討 (3) 具現化を図るための各主体者の取り組みについての検討 3 教育目標本発表会の日程及び内容の検討 4 重点教育目標解説の検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 10目標の解説文について、難かしい表現やわかりづらい表現等について検討された。
7	12月2日 10:00～12:00 (334会議室)	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回に出された意見を反映させた答申書(案)について 2 教育目標設定報告書内容の検討 3 教育目標本発表会の資料作成について 4 人生各期にわたる教育目標解説の総括検討について <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標解説の表記や内容についての問題点を洗い出し、資料を基に総括検討を行った。